

山村地域での救命救急と救助技術シミュレーション

震災土砂崩れ現場や雪崩現場、山間部集落倒壊家屋からの救助技術を理解して、救急隊との連携に習熟しよう！

—災害時に救命可能者・要介護者を置き去りにしないために—

目的

群馬大学を取り巻く山村地域には、いつ急変してもおかしくない高齢者や疾病罹患者が多数おられます。そうした方々に加え、群馬県の豊かな自然環境を楽しむために外部から訪問される方々にも健康に不安を持つ方は少なからずおられます。山間部において傷病者が発生することは決して稀ではなく、特に地震や豪雨に伴って発生する土砂崩れ現場や雪崩現場、倒壊家屋からの救助要請も定期的に発生しています。そうした現場に医療スタッフの知識や技術が求められるケースは増加しており、医療スタッフが病院前救急救命処置を習熟しておくことは必須となりつつあります。このプログラムでは、山間部の厳しい環境において傷病者はどのように救助されるかを解説し、参加者の皆さんにレスキュー活動をシミュレーションで体験して頂きます。昨今問題にされている、災害時の要介護者置き去りを防ぐためにも、厳しい条件下で尊い人命を救助するための最新技術を研修しましょう。

日時：2017年11月18日（土曜日）—19日（日曜日）

<募集は2017年9月頃から開始予定>

会場：独立行政法人 国立青少年教育振興機構 国立赤城青少年交流の家
〒371-0101 前橋市富士見町赤城山 27 TEL: 027-289-7224

参加人員：受講生・講習スタッフ約50名

プログラム内容：

- 11月18日午前： 講義1「群馬県の救急態勢と事例：倒壊現場救出」
講義2「特殊な状況での救命処置と酸素投与」
講義3「厳しい環境での救助・雪崩現場での救助」
実習1「病院前救急総論」
- 午後： 実習2「初期評価」
実習3「全身観察」
実習4「ケーススタディー」
実習5「高所環境での心肺蘇生・災害対応器具実技」
実習6「特殊な環境からの搬出技術」

夕食後：講義 「厳しい環境での救助映像と意見交換」

11月19日午前： 講義4 「ヘリコプター救助の基礎」

実習7 「ヘリコプター救助実習」

午後： 実習8 「傷病者発生現場での処置と搬出：競技」

注意： 当日の天候等により講義実習の内容や順序を入れ替える場合があります。

主催：群馬大学医学部附属病院

麻酔科蘇生科 救急部 臨床研修センター 医療人能力開発センター

協力：群馬 JPTEC 協議会・群馬県防災航空隊

日本神経麻酔集中治療学会第21回大会

群馬県山岳連盟救助隊



現場へ急行するための ACLS と外傷キット



防災ヘリと救急隊の訓練

ドクターヘリは着陸しての搬送が業務です。このコースでは着陸困難な場所での空中からの医療スタッフ投入、空中停止中のヘリへの傷病者収容などを実機を使用して研修します。また、車が入れない谷底からの傷病者搬送、人力での担送、雪崩現場からの救出やその後の心肺蘇生なども体験します。

連絡先：群馬大学医学部附属病院麻酔科蘇生科（担当秘書：片木久美）

〒371-8511 前橋市昭和町3-3 9-2 2

電話 027-2290-8454、FAX 027-220-8473

E-mail gkumi@gunma-u.ac.jp

当日の持ち物と準備

グラウンドでの研修には体育着・運動靴など屋外救助訓練に対応できる支度で参加して下さい。小雨でも実施しますので、着替えやタオルをご用意下さい。

歯ブラシ・寝間着など宿泊用品（宿泊者のみ）

その他注意事項

- 駐車スペースは赤城青少年交流の家の敷地に入り最初の（最下段）駐車場で、玄関前には停めないで下さい。
- 到着後玄関を入れて右側の講堂前で受付をして下さい。
- 11月19日午後、グラウンドでの屋外研修中は随時グラウンドセンター棟のシャワーが使用できます。
- 11月19日日曜日は研修室を荷物（貴重品を除く）置き場ならびに更衣室として使用できます。
- 11月18日土曜日の大浴場での入浴は17時から23時まで随時可能です。
- 喫煙は指定の喫煙スペースでのみ可能です。



富士山頂レベル減圧室内での心肺蘇生体験



高所での加圧治療

11月18日 (土曜日)

	内容	担当
1日目		
8:30 – 8:40 <講堂>	開会式、班分け (1日目5班、2日目4班)・施設説明	群馬大学集中治療部 齋藤 青少年交流の家担当者
8:40 – 9:00 <講堂>	講義1「群馬県の救急態勢と遭難救助事例：倒壊現場救出」	群馬大学救急部 大嶋
9:00 – 9:20 <講堂>	講義2「特殊な状況での救命処置と神経保護、ICUとの連携」	日本神経麻酔集中治療学会 齋藤
9:20 – 9:40 <講堂>	講義3「厳しい環境での救助」	群馬県山岳連盟救助隊 町田隊長ほか
9:40 – 9:50	休憩	実施施設内
9:50 – 11:30 <講堂>	実習1「病院前救急総論」	群馬大学大学救急部 大嶋 群馬JPTEC協議会協力者 (打ち合わせ：研修室7)
11:30 – 12:30 食堂	昼食	青少年交流の家 厨房
12:30 – 14:30 <アクティビティホール>	実習2「初期評価」 実習3「全身観察」	群馬大学大学救急部 大嶋 群馬JPTEC協議会協力者
14:30 – 14:40	休憩	
14:40 – 15:20 <アクティビティホール>	実習4「ケーススタディー」	群馬大学集中治療部 群馬JPTEC協議会協力者
15:20 – 16:00 <アクティビティホール>	実習6「災害・遭難対応器具実技」 (搬送器具、救急器材)	群馬大学麻酔科 齋藤 群馬県山岳連盟救助隊 町田隊長ほか
16:00 – 17:00 <アクティビティホール> (1630から代表打合せ)	実習7「特殊な環境、雪崩現場からの搬出技術」	群馬県山岳連盟救助隊 町田隊長ほか
17:00 – 17:30 集いの広場	夕べの集い (他団体間交流)	赤城青少年交流の家
17:30 – 19:00 食堂	入浴・食堂	青少年交流の家食堂入浴棟
19:00 – 21:00 プレイルーム2F	厳しい環境での救助映像と意見交換	群馬県山岳連盟救助隊 町田隊長ほか
22:00 宿泊棟 (～23時入浴可)	就寝	参加者とスタッフ

11月19日（日曜日）

	内容	担当
2日目		
7:10 - 7:30 集いの広場	朝の集い ラジオ体操	青少年交流の家担当者
7:30 - 8:30	朝食	青少年交流の家 食堂
8:30 - 9:00	宿泊棟 清掃 クローク：第1研修室	各自
9:00 - 9:30 <グラウンド 講義室>	講義4「ヘリコプター救助 の基礎」	群馬県防災航空隊 原田 隊長ほか
9:30 - 11:30 <グラウンド 山のキャンプ場> <荒天時：アクティビ ティーホール>	実習7「ヘリコプター救助の実演： 投入・吊り上げ・搭乗体験」& 「特殊環境救助技術」 悪天候・出動要請などで防災ヘリ 飛来困難の場合 チロリアンブリッジによる移動 懸垂下降など	群馬県防災航空隊 赤城青少年交流の家撮影 係 群馬県山岳連盟救助隊 町田隊長ほか
11:30 - 12:30	昼食（屋外活動弁当）	グラウンドセンター棟
12:30 - 15:30 <グラウンド 山のキャンプ場> 1500 - 1530	実習8「傷病者発生現場での処置と 搬出：コンペティション」 模範演技	群馬県山岳連盟救助隊 町田隊長ほか 群馬JPTEC協議会協力者 群馬JPTEC協議会協力者
15:30頃	修了式・解散	
	(センター棟シャワー室使用 可能)	

天候等の諸事情によりヘリコプターの飛来時間が変更になる場合はプログラム
順を変更することがあります。